

《特集2》

テラス整備やtengooで経済活性化

横山市長が退任

横山公一市長は先月9日、任期満了を迎え市長を退任しました。横山市長は「市民の皆様のおかげで市は確実に前進してきた」と感謝を述べ、多くの市民などに見送られながら市役所を後にしました。2期8年就任。



退任あいさつ



写真上から）そば打ちを披露する利根実高生を見守る（2019年11月中国・成都）、大正ロマンのまちづくりとして文化的施設が集まる（上之町）、退任のあいさつで市民などへ感謝を述べる



域通貨tengooは、海外販路の一

ポットとして定着しつつあります。コロナの交付金を活用した電子地

誕生した庁舎内複合施設テラス沼田は、行政関連機関や子ども広場、市民活動センターなどが集約され利用しやすくなりました。多目的スペースも開放し、幅広い世代が利用できる拠点として活用されていることは、まちの活性化につながっていると実感しています。大正ロマンのまちづくりといった文化的施設の中心地への移築も、歴史や文化に根ざしたまちづくりとして整備され、観光スポットとして定着しつつあります。

退任あいさつ

皆様、2期8年大変お世話になりました。おかげさまで沼田市が半歩、1歩というように前に進めたのではないかなと思っています。

市民共有の財産として活用すべく

環で行った中国・成都での物産フェアでの電子マネー決済から発想した取り組みです。tengooの開始から1年半が経ち、現在、加盟店は約500店舗と初期から大幅に増加。チャージ額10%還元といったキャンペーンも好評で、経済活動の活性化に寄与していると感じています。

世の中は日々刻々と変わっています。予期もしないことが起こる世の中になってしまったのは残念で、ウクライナ状況を見れば分かんと思っています。

これからも市民の皆様と市職員の皆様が共に手を携えて、市を前進させていただければ大変ありがたいです。そのために、何においても地道に前に進むことが大事だと思っています。皆様には沼田をこよなく愛していただきたい、私も変わらぬ思いで愛し続けたいと思っています。

横山市長が選ぶ 心に残る取り組み BEST3



市民共有の財産に
テラス沼田がオープン



市内経済の活性化
電子地域通貨tengoo導入



歩いてtengooをためよう
活動量計で健康管理